

企業の方針と計画

黒田インターナショナル

黒田 毅

企業は決してトレンドを追求してはいけない。企業は自己製品とサービスを構築し、それを改善することにおいて自己を有するのである。

これは企業が労働を美德として、自己を有することが正しいということであり、適正な利益の構築は、現実への理解と認識、自己の理念と行動において与えられる。

時代進歩性の吸収は、企業の改善であり、これらは新しい効率基準とコスト基準における企業構築を可能として与える。

企業が利益を優先することは、企業がその企業倫理性と創造性における社会責任を行うことと相違する。

これらは内実の整備が、優先し、結果を追求すべきでないということを証明するはずである。

これらは本来企業の使命である社会責任を基盤として、時代変化における高い技術とシステム要求へ、企業が自己製品とサービスの向上における参加を得ることが企業の健全性を与えるのである。

これらは企業のソフトとハード資産の活用が、時代性との合致を経て、企業の新たな可能性を与えるのである。

これらは企業が労働という基盤において可能性を行うことを提案する。